

リレー随筆

～こんな昼間にハバナがよ～



皆さんこんにちは、四度、ウソコネンタルギャンク@アンコネシア片柳です。さて、今回はアルコール編です。

全国港湾は1月7日に旗開きをおこない、新たな一年をスタートさせました。旗開きは新年会を兼ねており、お屠蘇も振る舞われ、毎年束の間の穏やかな一時となっております。しかし、私・アンコネシアとい

皆さんこんにちは、四度、しましては、甘口のお屠蘇が恋しく、今年はマイお屠蘇「ハバナクラブ」を持参させていただきました。

「ハバナクラブ」は、カリブの海賊が猛威を振るったであろうカリブ海に浮かぶキューバのお酒で原料は麦ではなくサトウキビです。サトウキビから蒸留してつくられたお酒はラム酒と呼ばれる「ハバナクラブ」はラム酒の中でもタークラムの数(純度)が高くなる要因

銘品として名が通っているのです。古き良き恋と革命の香りも感じられます。また、一般にラム酒で有名なものとしては「ロンリコ151」というものがありますが、アルコール度数が75度以上もあり、一口飲めば「ロンリコ? ロリコ? ロポコ? 状態となつてしまいますので飲むには勇気と覚悟が必要です。

日本ではお酒は百薬の長などと言われるのですが、欧米では酒はアルコール(成分を抽出させたものであるため)ドラック一種と見なされる)として受け止められることが多く、アルコール度数(純度)が高くなる要因の一つにもなっているようです。ちなみに私が飲んだ最高度数は98度(沸騰したお湯の温度ではありません)こんな昼間にハバナがよって感じて失礼しました。最後に飲み仲間の映画「新宿タイガー」も宜しく。それでは、皆さんご機嫌よう。次号は岡部委員です、乞うご期待。



本年6月、全労済から「こくみん共済 coop」へ

「こくみん共済 coop」とは、「こくみん みんなのために、共済というたすけあいの仕組みを提供する、協同組合(coop)である」ことを表しました。



全労済は、さらに「たすけあいの輪」を広げ、より多くの方に生活の安心をお届けするため、新しい姿を表す愛称を「こくみん共済 coop」としました。

協力団体の皆さまと培ってきた**労働者自主福祉による事業と運動をさらに強化・発展させ**、組合員の生活を支えていきます。

そして、その取り組みを**生活者へも広く展開**していきます。

皆さまのご契約内容等に変更が生じることはございません。また、お手続きも不要です。



新春クイズ 正解発表!!

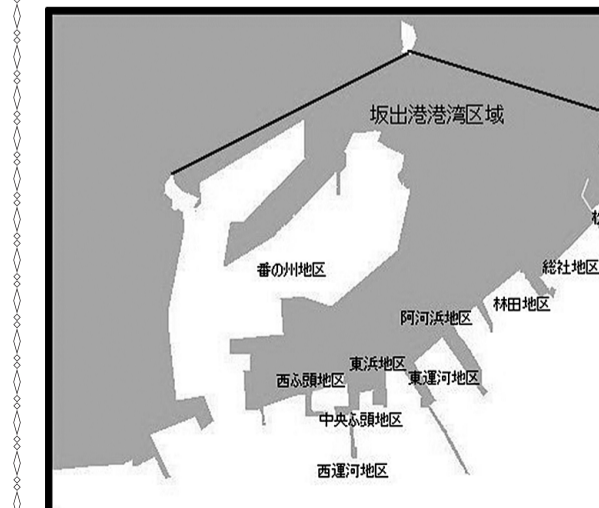
全国港湾第三〇(新年)号に掲載された「猪年 クロスワード パズル」に多数の応募ありがとうございました。

正解は、「ワリボウ」でした。

今回のクイズへの応募は、十六名でした。応募者全員に粗品をお送りすることを決定致しました。商品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

また、皆さまから寄せられた貴重なご意見・ご感想に感謝申し上げます。今後ともよりよい機関紙を目指していきたいと思っております。宜しくお願い致します。

各地区港湾コラム⑩ 四国港湾



坂出港について

坂出港は、香川県のほぼ中央に位置し、江戸時代より塩の積出港として栄えました。

昭和初期には岸壁も整備されて近代的な商港として繁栄し、一九四八年一月一日に関税法による開港場に指定され、一九五一年九月二十二日に重要港湾に指定、港則法上の特定港にも指定されています。

その後、番の州埋め立てに伴う大規模臨海工場の誘致や塩田跡地を活用した港湾開発などにより、香川県の工業と坂出市の発展に大きく貢献し、現在も四国北東部における流通拠点として重要な役割を果たしています。昭和四十二年に、川崎重工業(株)が操業を始めた。

開始し、続いて三菱化学(株)、四国電力(株)、YKK吉田工業(株)、コスモ石油(株)等、番の州地区(ほとんどがプライベートパス)に大型の近代化企業が相次いで立地操業し、香川県工業開発の中核として飛躍的に発展しました。

二〇一〇年八月に、当時民主党政権下において、新たな港格の「重点港湾」を設けられました。全国に二〇三港ある重要港湾が四十三港に絞られ、香川県では坂出港と高松港の二港が選ばれています。

しかし、二〇一一年四月に「港湾法及び特定外貿埠頭の管理運営に関する法律の一部を改正する法律」の施行によって、さらに港格の見直しが行われ、坂出港の対岸にある「水島港」が穀物分野と鉄鉱石分野において国際バルク戦略港湾に選定されました。四国の港は、この国際戦略港湾の選定募集に対して、どの港も選定基準を満たせていないことから一港も選定されていません。

この影響もあり、二〇一三年七月に、坂出港番の州地区にあるコスモ石油(株)坂出工場が石油精製を完全に停止することになり、原油本船の入港が無くなってしまいました。

さらには、二〇一四年十月に、公共バスである坂出西ふ頭地区内にある、JA西日本くみあい(株)坂出工場が、国際バルク戦略港湾である「水島港」(玉島ハーバーアイランド)へ移転することが発表され、その後、飼料原料の取り扱いや関連作業が今年から無くなっていきます。

坂出港は歴史がある港であり、坂出市のまちづくりに多大なる貢献をしてきましたが、国の「選択と集中」港湾政策や本四架橋開通によるストロ―現象が起り、経済や人口の流出に歯止めが利かなくなっています。坂出港で起きている問題については、組合員の雇用を第一義に考え、四国港湾の組織強化を図りながら問題解決に向け、現在様々な運動を取り組んでいます。